



市民の視点に立った政策決定を 行政サービスの物差しを市民側に合わせて



社民・民主・護憲クラブ
古庄 和秀 議員

3月7日 一問一答方式により質問

■1 市長の政治姿勢と今後のまちづくりについて（1）国政への評価（2）総合計画後期基本計画第2期実施計画と市民生活（3）新年度予算編成への市長の信念と優先順位（4）市民目線で見える三川坑跡のあり方（5）中心市街地活性化 ■2 障害者政策の立ち位置について（1）障害者福祉制度の支給基準と個別対応（2）9月議会以降の改善点（3）障害者総合支援法への対応（4）まちづくりの観点から見る障害者政策

市長の政治姿勢と 今後のまちづくりについて

国政への評価

問 アベノミクスが本市に与える影響を聞きたい。

答 一定評価するが、急激な円安によって物価上昇を招くこと等による市民生活への影響は、十分注視していかなければならない。

問 民間には給与の値上げ、公務労働者には給与の削減を要求する点についてはどうか。

答 地方公務員の給与引き下げは、消費拡大にはつながらずデフレを加速させる要因ともなるのではないかと、疑問を感じざるを得ない。しかし、現下の最大使命である日本再生、東日本大震災後の復旧・復興に向けて、国と地方が一丸となってあらゆる努力を結集する必要がある。職員の給与減額措置は避けられない。

新年度予算編成への 市長の信念と優先順位

問 高齢者等の就労意欲の喚起や就労機会の確保、生きがいの創出について聞きたい。

答 高齢者のイメージを、明るく、活力があり長い人生の完成期と捉えており、仕事への参加を通じ、社会とのつながりを実感しながら生き生きと活躍し、元気に生きが

いを感じながら暮らし続けることが、孤立防止や疾病・介護予防、そして、地域社会の活性化につながっていくものと考えている。

市民目線で見える 三川坑跡のあり方

問 12月以降、三川坑跡の取得方針が変わった根拠を聞きたい。

答 全市的な三川坑跡の保存の署名活動の報告や商工会議所からの要望などを踏まえ、改めて、三川坑跡を保存し、次の世代に継承していくことが必要だと認識した。

中心市街地活性化

問 市長の最初の公約に掲げられて以来、重点的に取り組んであるが、その全体像を描く中心市街地活性化基本計画は未だ認定されていない。

さらに、認定された他都市でも厳しい現状にある中、中心市街地の現状と課題並びに市長の決意を聞きたい。

答 以前のように商業のまちとして栄えることは難しいので、三つの柱で、活性化に全力に取り組む。



建設中の(仮称)中心市街地にぎわい交流施設

障害者政策の 立ち位置について

障害者福祉制度の 支給基準と個別対応

問 障害者が介護保険の対象となったときの対応について9月議会以降、どのように検討したのか。

答 近年の障害者福祉費は毎年億円単位で増加している。また、21年度以降は、国・県負担金の基準額を超えて支給している。しかし、障害者自立支援法と介護保険法の制度の問題による不利益はあってはならない。65歳になられた途端にサービス量が激減し、日常生活などに大きな支障が生じないように、障害の特性を考慮した障害福祉サービスの支給決定のあり方について検討している。

まちづくりの観点から見る 障害者政策

問 岡山県総社市では、障害者千人雇用に取り組まれ、職員が自宅を個別訪問し、本人の希望を確認した上で、次のステップにつながっている。まちづくりの観点から見る障害者政策について聞きたい。

答 市総合計画の基本構想において、ノーマライゼーションの理念のもとで、生活居住環境の向上や就労支援、社会参加の促進などにより、障害のある人が地域で安心して暮らすための自立支援を促進していくこととしている。